

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成18年12月28日(2006.12.28)

【公表番号】特表2006-514546(P2006-514546A)

【公表日】平成18年5月11日(2006.5.11)

【年通号数】公開・登録公報2006-018

【出願番号】特願2004-553781(P2004-553781)

【国際特許分類】

**C 1 2 N 15/09 (2006.01)**

**A 6 1 K 31/711 (2006.01)**

**A 6 1 K 48/00 (2006.01)**

**A 6 1 P 29/00 (2006.01)**

**A 6 1 P 31/00 (2006.01)**

**A 6 1 P 35/00 (2006.01)**

**A 6 1 P 43/00 (2006.01)**

**C 1 2 Q 1/68 (2006.01)**

**C 0 7 H 21/04 (2006.01)**

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

A 6 1 K 31/711

A 6 1 K 48/00

A 6 1 P 29/00

A 6 1 P 31/00

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 43/00 1 0 5

C 1 2 Q 1/68 A

C 0 7 H 21/04 B

【手続補正書】

【提出日】平成18年11月10日(2006.11.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

配列番号：19、配列番号：36またはそれらに対応するRNA配列の少なくとも一部分と実質的に同一または相補的な少なくとも8つの連続する核酸塩基配列を含む単離オリゴヌクレオチド。

【請求項2】

前記核酸塩基配列が、配列番号：15またはそれらに対応するRNA配列と実質的に同一または相補的である、請求項1記載のオリゴヌクレオチド。

【請求項3】

前記核酸塩基配列が、配列番号：1、配列番号：2、配列番号：3、配列番号：4、配列番号：5、配列番号：6、配列番号：7、配列番号：14、配列番号：22、配列番号：23、配列番号：24、配列番号：25またはそれらに対応するRNA配列と実質的に同一または相補的である、請求項1記載のオリゴヌクレオチド。

【請求項4】

実質的に同一または相補的な配列が約10-26核酸塩基長である、請求項1記載のオリゴヌクレオチド。

【請求項5】

RNAオリゴヌクレオチドである、請求項1記載のオリゴヌクレオチド。

【請求項6】

非天然の核酸塩基、糖またはヌクレオチド間結合を含む、請求項1記載のオリゴヌクレオチド。

【請求項7】

ホスホロチオエート化ヌクレオチド間結合を含む、請求項6記載のオリゴヌクレオチド。

【請求項8】

請求項1記載のオリゴヌクレオチドおよび製薬的に許容される担体、希釈剤またはアジュバントを含む組成物。

【請求項9】

Bcl-2発現を抑制するために細胞、組織または生物に投与される、請求項1記載のオリゴヌクレオチドを含む組成物。

【請求項10】

Bcl-2をコードする核酸を検出する方法であって、請求項1記載のオリゴヌクレオチドをBcl-2をコードする核酸にハイブリダイズさせることを含む方法。

【請求項11】

核酸がRNAである、請求項10記載の方法。

【請求項12】

前記オリゴヌクレオチドが検出可能な標識をさらに含む、請求項10記載の方法。

【請求項13】

配列番号：20、配列番号：37またはそれらに対応するRNA配列の少なくとも一部分と実質的に同一または相補的な少なくとも8つの連続する核酸塩基配列を含む単離オリゴヌクレオチド。

【請求項14】

前記核酸塩基配列が、配列番号：16またはそれらに対応するRNA配列と実質的に同一または相補的である、請求項13記載のオリゴヌクレオチド。

【請求項15】

前記核酸塩基配列が、配列番号：8、配列番号：9、配列番号：26、配列番号：27、配列番号：28、配列番号：29、配列番号：30またはそれらに対応するRNA配列と実質的に同一または相補的である、請求項13記載のオリゴヌクレオチド。

【請求項16】

実質的に同一または相補的な配列が約10-26核酸塩基長である、請求項13記載のオリゴヌクレオチド。

【請求項17】

RNAまたはDNAオリゴヌクレオチドである、請求項13記載のオリゴヌクレオチド。

【請求項18】

非天然の核酸塩基、糖またはヌクレオチド間結合を含む、請求項13記載のオリゴヌクレオチド。

【請求項19】

ホスホロチオエート化ヌクレオチド間結合を含む、請求項18記載のオリゴヌクレオチド。

【請求項20】

請求項13記載のオリゴヌクレオチドおよび製薬的に許容される担体、希釈剤またはアジュバントを含む組成物。

【請求項21】

Bcl-2発現を抑制するために細胞、組織または生物に投与される、請求項13記載のオ

リゴヌクレオチドを含む組成物。

【請求項 2 2】

Bcl-2をコードする核酸を検出する方法であって、請求項 1 3 記載のオリゴヌクレオチドをBcl-2をコードする核酸にハイブリダイズさせることを含む方法。

【請求項 2 3】

オリゴヌクレオチドがRNAである、請求項 2 2 記載の方法。

【請求項 2 4】

前記オリゴヌクレオチドが検出可能な標識をさらに含む、請求項 2 2 記載の方法。

【請求項 2 5】

配列番号：2 1 またはそれに対応するRNA配列の少なくとも一部分と実質的に同一または相補的な少なくとも8つの連続する核酸塩基配列を含む単離オリゴヌクレオチド。

【請求項 2 6】

前記核酸塩基配列が、配列番号：1 7 またはそれに対応するRNA配列と実質的に同一または相補的である、請求項 2 5 記載のオリゴヌクレオチド。

【請求項 2 7】

前記核酸塩基配列が、配列番号：1 0、配列番号：1 1、配列番号：1 2、配列番号：1 3、配列番号：3 1、配列番号：3 2、配列番号：3 3、配列番号：3 4 またはそれらに対応するRNA配列と実質的に同一または相補的である、請求項 2 5 記載のオリゴヌクレオチド。

【請求項 2 8】

実質的に同一または相補的な配列が約10-23核酸塩基長である、請求項 2 5 記載のオリゴヌクレオチド。

【請求項 2 9】

RNAオリゴヌクレオチドである、請求項 2 5 記載のオリゴヌクレオチド。

【請求項 3 0】

非天然の核酸塩基、糖またはヌクレオチド間結合を含む、請求項 2 5 記載のオリゴヌクレオチド。

【請求項 3 1】

ホスホロチオエート化ヌクレオチド間結合を含む、請求項 3 0 記載のオリゴヌクレオチド。

【請求項 3 2】

請求項 2 5 記載のオリゴヌクレオチドおよび製薬的に許容される担体、希釈剤またはアジュバントを含む組成物。

【請求項 3 3】

Bcl-2発現を抑制するために細胞、組織または生物に投与される、請求項 2 5 記載のオリゴヌクレオチドを含む組成物。

【請求項 3 4】

Bcl-2をコードする核酸を検出する方法であって、請求項 2 5 記載のオリゴヌクレオチドをBcl-2をコードする核酸にハイブリダイズさせることを含む方法。

【請求項 3 5】

核酸がRNAまたはDNAである、請求項 3 4 記載の方法。

【請求項 3 6】

前記オリゴヌクレオチドが検出可能な標識をさらに含む、請求項 3 5 記載の方法。

【請求項 3 7】

生物におけるBcl-2発現の変化の影響を受けやすい状態を処置するために、該生物に投与される、請求項 8 記載の組成物。

【請求項 3 8】

生物がヒトである、請求項 3 7 記載の組成物。

【請求項 3 9】

生物におけるBcl-2発現の変化の影響を受けやすい状態を処置するために、該生物に投

与される、請求項 20 記載の組成物。

【請求項 40】

生物がヒトである、請求項 39 記載の組成物。

【請求項 41】

生物における Bcl-2 発現の変化の影響を受けやすい状態を処置するために、該生物に投与される、請求項 32 記載の組成物。

【請求項 42】

生物がヒトである、請求項 41 記載の組成物。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0061

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0061】

Bcl-2 核酸の第三標的領域(領域 C)は配列番号：21 に存在する。抑制性オリゴヌクレオチドの誘導に用いる配列番号：21 の好ましいサブ配列は、配列番号：17 である。領域 C は約 23 核酸塩基長である。配列番号：17 は約 17 核酸塩基長である。領域 C の標的領域の少なくとも一部または配列番号：17 の少なくとも一部に相補的なオリゴヌクレオチドは、Bcl-2 の発現を改変可能な抑制性オリゴヌクレオチドであり、一般に約 10 から 23 核酸塩基長である。これらのオリゴヌクレオチドは好ましくは約 8 から約 17 核酸塩基長、より好ましくは約 10 から 17 核酸塩基長、もっとも好ましくは約 12 から 14 核酸塩基長であり得る。そのような、領域 C または配列番号：17 に相補的なオリゴヌクレオチドは、配列番号：10、配列番号：11、配列番号：12、配列番号：13、配列番号：31、配列番号：32 および配列番号：33 および配列番号：34 を含むがこれらに限定されず、本発明の実施において抑制性オリゴヌクレオチドとして有用である。本発明にはさらに、抑制性オリゴヌクレオチドとして、配列番号：10、配列番号：11、配列番号：12、配列番号：13、配列番号：31、配列番号：32 および配列番号：33 および配列番号：34 の少なくとも 8 つの連続する核酸塩基を含むオリゴヌクレオチドが含まれる。